

社会構築論系 共生社会論プログラム 現代共生理論ゼミ Can We Live Together? (定員 1 学年15名)

講義要項内容： (1) Can We Live Together? を基本テーマにして、社会学を軸に経済学、政治学、サイバネティクス、統計学の知識と方法を習得しつつ、知的な討論を繰り返して、メンバー各位の固有の意見、理論をまとめていく。とくに理論的で、論拠を明確にした議論をしていく能力の養成を最重視する。(2) その前半40分は readings とし新旧重要文献を読む。後半120分は、チームワークによる報告と討議を繰り返していく。疲れたら、みんなビールを飲みに行く。(3) 3年度生の目標は、2年生までに学んだ知識とSPSSなどの基本統計ソフトウェアのスキルを確認しつつ、基本テーマについて各自の研究成果をまとめていくこと、4年度生の目標は、1年間行ってきた研究成果をゼミ論文を仕上げる。経済と社会というテーマが、日本の過去、現在、将来を考えるのに最も重要だと、このゼミナールでは考えるので、経済社会学と社会経済学の基礎知識を習得しつつ、その裾野を拡げるために社会学の理論的知識と経験的方法も教示する。教科書 森 元孝著『貨幣の社会学』東信堂。春学期課題図書 岩井克人『貨幣論』筑摩書房。

合宿等費用について： 年間3回ほど合宿を予定している。合宿ならびにコンパは個人負担。合宿については、大学セミナーハウスを利用し、JR団体割引料金を利用するので、概ね2泊3日1回18,000円前後となる。

SS :

月	日	課題 1 心臓を鍛える	課題 2 理論的・論理的思考を養う
		Mary Douglas, Aaron Wildavsky, Risk and Culture: An Essay on the Selection of Technological and Environmental Dangers, University of California Press 1983	テーマ「リスクと危険」
4	10	Introduction	トマスの公理 —リアルとよりリアル グループで次週準備
	17	Introduction	現代のベーターヴェンとノーベル賞候補
	24	Introduction	境界と横断 —尖閣諸島と竹島 グループで次週準備
5	8	Chap. I	尖閣諸島と竹島のリスクと危険
	15	Chap. I	リスクと不確定性 —日本の危険 グループで次週準備
	22	Chap I	原発と脱原発のリスクと危険
	29	Chap II	民主主義 —日本人の危険 グループで次週準備
6	5	Chap II	オリンピック2020のリスクと危険
	12	Chap II	市場とは何か? —アベノミクスとダメノミクス グループで次週準備
	19	Chap III	経済政策のリスクと危険
	26	Chap III	合宿の準備
7	3	Chapter 5	合宿の準備
合宿(7/5-7) 夏合宿(2泊3日) 軽井沢セミナーハウス			
		課題1 境界と横断 戦後補償にどう向き合う	90分×1
		報告	
		課題2 日本の経済政策にあるリスク	60分×2
		報告	
		課題3 東京都知事選と民主政にあるリスク	60分×2
		報告	
		課題5 映画鑑賞会	120
		・各自の批評を文章化する。	
	11	プロシーディングスの制作	
	18	プロシーディングスの制作	
	25	プロシーディングスの完成	
ゼミについては忘れ、自分たちのことをする。			

WS			
		課題1 心臓を鍛える	課題2 理論的・論理的思考を養う
		Mary Douglas, Aaron Wildavsky, Risk and Culture: An Essay on the Selection of Technological and Environmental Dangers, University of California Press 1983	ポスト日本的経営論 ー資本主義の精神と日本人の選択親和性は存在するか？
9	25	Chap II	Leaders 前編
10	2	Chap II	Leaders 後編
	9	Chap II	山崎広明「日本的経営の連続と断絶 1 概説」『日本経営史4 〈日本的経営〉の連続と断絶』岩波書店 鈴木恒夫「戦後空産業政策の成立」『日本経営史4 〈日本的経営〉の連続と断絶』岩波書店。+ トヨタ自動車 歴史整理
	16	Chap II	森川英正「概説 1955年ー1990年代」『日本経営史5 高度成長を超えて』岩波書店を読んで。 橋本寿朗「長期相対関係と企業系列」『日本経営史5 高度成長を超えて』岩波書店。
	23	Chap II	伊丹敬之「戦後日本のトップ・マネジメント」『日本経営史5 高度成長を超えて』岩波書店。 「日本的経営とは何か？ 戦後型産業政策の成立に関連づけて」
	30	Chap III	体育祭休講
11	6	Chap III	岡崎哲二「戦後日本の金融システム ー銀行・企業・政府」『日本経営史5 高度成長を超えて』岩波書店。 「株主安定化と企業系列の現在」
	13	Chap III	吉原英樹「国際化と日本的経営」『日本経営史5 高度成長を超えて』岩波書店。 「〈長期信用銀行制度〉と証券会社の関係について」
	20	Chap III	宇田川勝・安部悦生「企業と政府ーザ・サード・ハンド」『日本経営史5 高度成長を超えて』岩波書店。 「『NOと言える日本』をこう読む」
	27	Chap III	米倉誠一郎「共通幻想としての日本型システムの出現と終焉」『日本経営史5 高度成長を超えて』岩波書店。 「『企業〇〇年史』を数冊読んでみると」
12	4	Chap III	
	11	合宿の準備	
		合宿(12/13ー15) 冬合宿(2泊3日) 鴨川セミナーハウス	
	12/13ー15	課題図書『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』概要	45分×2グループ
		課題図書『経済学哲学草稿』概要	45分×1グループ
		「資本主義、そしてその精神とは何か？」	45分×1グループ
		「労働と疎外との関係」	45分×1グループ
		「10年後のみなさん ー新・日本的経営におけるトップとボトム 岩井克人『会社はこれからどうなるのか』平凡社から論点を取り上げて」	45分×5グループ
	18	?	
1	8	新年会	
	15	プロシーディングスの制作	
	22	プロシーディングスの制作	
	29	プロシーディングスの完成	

ゼミについては忘れ、自分たちのことをする。